

推進委員ちば

Vol.415

2025.12.

千葉県交通安全活動推進センター



【富津地域交通安全活動推進委員協議会の活動】

10月17日、「イオンモール富津」入口交差点において、飲酒運転根絶サインプレートを活用し、通行車両に交通事故の防止と飲酒運転の根絶を呼びかけた。

令和7年 冬の交通安全運動

実施期間

令和7年12月10日(水)から12月19日(金)まで

スローガン

～飲酒運転は絶対しない、させない、許さない～

運動重点

- 1 飲酒運転の根絶に向けた取組の推進
- 2 夕暮れ・夜間・明け方における交通事故防止
- 3 自転車の交通ルール理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

推進委員協議会の活動

(活動報告から抜粋しました。)



鎌ケ谷

◆放置自転車防止キャンペーン

10月22日、新鎌ケ谷駅構内において、警察・関係団体と放置自転車防止のキャンペーンを実施し、自転車の安全利用を呼びかけた。



千葉南

◆高齢者交通安全教室の開催

10月17日、千葉市大椎台自治会館にて、高齢者に飲酒ゴーグルや高齢者ドライバーズ・クリニックの体験を通じて、交通事故の防止を呼びかけた。



行徳

◆自転車安全利用キャンペーン

10月22日、行徳駅前において、警察・関係団体と自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、自転車ヘルメット着用と交通事故の防止を呼びかけた。



市川

◆通学路の街頭指導

10月27日、市川市立大和田小学校付近において、警察・関係団体と登校時の児童に対するの街頭指導を実施した。



松戸東

◆自転車安全利用キャンペーン

10月20日、常盤平西友前において、警察・関係団体と自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、自転車ヘルメット着用と交通事故の防止を呼びかけた。



松戸

◆飲酒運転根絶キャンペーン

10月28日、JR松戸駅西口において、警察・関係団体と通行人にチラシや啓発物資を配布して、飲酒運転の根絶と交通事故の防止を呼びかけた。

成
田

◆飲酒運転根絶キャンペーン

10月20日、富里市立図書館交差点において、警察・関係団体と通行車両にチラシや啓発物資を配布して、飲酒運転の根絶と交通事故の防止を呼びかけた。

佐
倉

◆飲酒運転根絶キャンペーン

10月10日、「ヤオコー染井野店」において、警察・関係団体と買い物客にチラシや啓発物資を配布して、飲酒運転の根絶と交通事故の防止を呼びかけた。

茂
原

◆自転車ヘルメット着用啓発活動

10月14日、茂原第一自転車駐輪場において、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、ヘルメット着用及び自転車の安全利用を呼びかけた。



旭

◆自転車ヘルメット着用啓発活動

10月14日、旭駅東駐輪場において、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、ヘルメット着用及び自転車の安全利用を呼びかけた。

君
津

◆飲酒運転根絶キャンペーン

10月20日、JR君津駅周辺において、警察・関係団体と歩行人にチラシや啓発物資を配布して、飲酒運転の根絶と交通事故の防止を呼びかけた。

市
原

◆自転車ヘルメット着用啓発活動

10月14日、八幡宿駅付近において、警察・関係団体と自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、ヘルメット着用及び自転車の安全利用を呼びかけた。

10月末現在の交通事故発生状況

(令和7年10月末)

◆ 県内の交通事故発生状況

区分	総数	前年比
発生件数	10,131	+118
死者数	96(96)	-12(-10)
負傷者数	12,181	+277

※ 死者数欄の()内は発生件数を示す。

◆ 死者数の多い都道府県

順位	区分	死者数	前年比
1	東京	114	-2
2	神奈川	109	+20
3	北海道	103	+18
4	大阪	96	-1
4	千葉	96	-12
6	埼玉	87	+3
7	愛知	84	-31
8	兵庫	76	-10
9	福岡	69	-6
10	茨城	62	-14

○ 全国の死者数 2,005人

(前年比 -123人、-5.8%)

◆ 死亡事故の特徴

1 事故類型別発生状況

- 事故類型別では、車両相互が38件(39.6%)と最も多く、次いで車両対歩行者が33件(34.4%)、車両単独が24件(25.0%)、列車が1件(1.0%)であった。
このうち、自転車関連事故の内訳は、車両相互が14件、車両単独が2件であった。

2 昼夜間別発生状況

- 昼夜別では、昼間が43件(44.8%)、夜間が53件(55.2%)であった。
○ 昼間の類型別では、車両相互が20件(46.5%)、車両単独が14件(32.6%)、車両対歩行者が8件(18.6%)、列車が1件(2.3%)であった。
また、夜間の類型別では、車両対歩行者が25件(47.2%)、車両相互が18件(34.0%)、車両単独が10件(18.9%)であった。

3 年齢層別死者数

- 高齢者が45人(46.9%)と最も多く、次いで若者が12人(12.5%)、50歳代が11人(11.5%)、60歳～64歳が10人(10.4%)、40歳代が7人(7.3%)、30歳代が6人(6.3%)、25歳～29歳が4人(4.2%)、子供が1人(1.0%)であった。

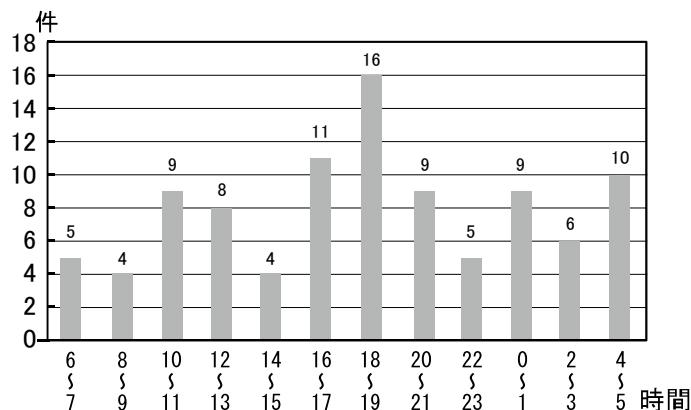
4 状態別死者数

- 歩行中死者が34人(35.4%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者が28人(29.2%)、二輪乗車中死者18人(18.8%)、自転車乗車中死者が16人(16.7%)であった。
○ 四輪乗車中死者のうちシートベルト非着用者は11人(3.4%)であった。

5 法令違反別発生状況

- 運転操作不適が28件(29.2%)と最も多く、次いで前方不注意が27件(28.1%)、安全不確認が16件(16.7%)、信号無視が6件(6.3%)、酒酔い運転及び動静不注視がそれぞれ2件(2.1%)、速度、歩行者妨害及び一時停止がそれぞれ1件(1.0%)、その他の違反が11件(11.5%)であった。

6 時間別死亡事故発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会
千葉県交通安全活動推進センター
ホームページアドレス <https://www.chiba-ankyo.or.jp>



〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
TEL 043-271-8481